学校番号	218

令和５年度　地理歴史　科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新地理Ａ　（帝国）　　新詳地図帳　（帝国）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理の楽しさを感じる。
・世界の各地域の国々の様々な社会・文化に触れ、視野を広げ共感能力を高める
・グローバル化した現在の社会と自分たちの生活をつなげる。

2　学習の到達目標

・国際化の進む今日の日本と世界の関わりの中で、正しく世界を認識する力を培う。
・地理の一般常識的な知識を身に付ける。
・地形や気候などの自然環境、民族や宗教など文化的な特徴などを把握することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の地理に関する課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代社会の諸課題を地理的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ、公正に判断して、その課程や結果を適切に表現している。	世界・国内に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	基本的な地形・気候などの地理的条件を理解し、その中で世界の歴史や日本の歴史にどのような影響を与えたのかを身に付けている。
評価方法	定期考査	定期考査 レポート 【行ってみたい国】というタイトルで、各国を調べ、発表	定期考査 レポート 内容の中で使用されるデータのまとまり	定期考査 レポート 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代世界の特徴と動向 世界の生活・文化の多様化	・結びつく現代世界 ・世界的視野から見た自然環境と文化	○	○	○	○	a:世界のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、現代の諸課題との関心を高めようとしている。 b:気候について、多面的・多角的に考察し、その課程や結果を適切に表現している c:与えた資料から辞令の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:自然環境と日本を含めた各地域の歴史とを関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート 定期考査
2学期	世界の生活・文化の多様性	諸地域の生活・文化と環境 ・東アジアの生活・文化と環境 ・東南アジアの生活・文化と環境 ・南アジアの生活・文化と環境 ・西アジアの生活・文化と環境 ・ヨーロッパの生活・文化と環境	 ○ ○ ○ ○ ○	○	○	 ○ ○ ○ ○ ○	a:各地域の文化などの関心を高め、日本の企業が進出している理由などを考察し、将来の自分が国際社会に生きることを意識している。 b:　各地域について、多面的・多角的に考察し、その課程や結果を適切に表現している c:必要な諸資料を自分で集め、有用な情報を選択して、読み取りや図表などにまとめたりしている。 d:１学期に学んだ自然環境と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート レポート 定期考査

3学期	世界の生活・文化の多様性	・南北アメリカの生活・文化と環境 ・オセアニアの生活・文化と環境	○ ○	 ○	○ 	○ ○	a:過去と現在の違いに関心を高め、課題意識を持ち、意欲的に追求しようとしている。 b:地球的課題について、多面的・多角的に考察し、その課程や結果を適切に表現している c:資料データから、自分たちレベルでできること、国家レベルでできることなどを推察し、図表などにしまとめる。 d:各課題を理解し、現在世界でどのような取り組みが行われているのか、その知識を身に付けている。	ワークシート レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。